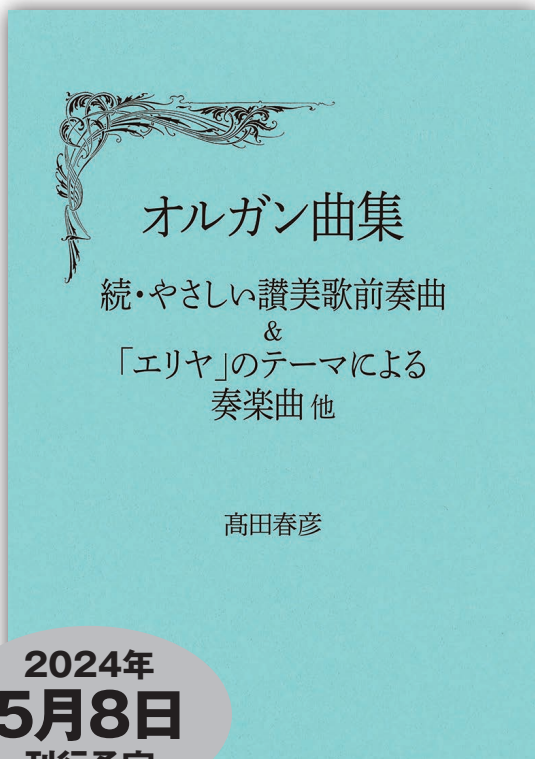


委託出版 新刊案内 日本キリスト教団出版局 発売元書籍

オルガン曲集 たかたはるひこ 高田春彦 著

続・やさしい讃美歌前奏曲& 「エリヤ」のテーマによる奏楽曲 他

平塚富士見町教会オルガニスト、
日本基督教団讃美歌委員、奏楽者
連絡協議会会長。



手鍵盤で弾けるやさしい奏楽曲集。讃美歌による奏楽20曲、メンデルスゾーンのアラトリオ「エリヤ」の旋律による奏楽8曲、後奏サイズの短い奏楽18曲。付録として足鍵盤・複数鍵盤を使う4曲も収録。

A4判・52頁・定価2,200円（本体2,000円+税）

ISBN978-4-8184-5562-7 C0073

出荷条件 = 6ヶ月 100%

※300部の限定配本につき、ご注文が多い場合は冊数調整させていただきます。

【収録曲】 *讃美歌 = 1954年版『讃美歌』

◆やさしい讃美歌前奏曲◆

- 1 こよなくかしこし (讃美歌5番)
- 2 主よ光をたまえ (讃美歌25番)
- 3 主よ共にやどりませ (讃美歌39番)
- 4 過ぎにしむかしも (讃美歌88番)
- 5 十字架の上に (讃美歌257番)
- 6 貴きみかみよ (讃美歌258番)
- 7 わが魂を愛するイエスよ (讃美歌273番A)
- 8 ひかりとやみとの (讃美歌276番)
- 9 わが主のみすがた (讃美歌278番)
- 10 主よみてもて (讃美歌285番)
- 11 主よ主のみまえに (讃美歌318番)

- 12 ただ主をたたえて (讃美歌340番)
- 13 あめなるよこび (讃美歌352番)
- 14 ちからのみかみよ (讃美歌357番)
- 15 ころみの世にあれど (讃美歌358番)
- 16 夕日はかくれて (讃美歌359番)
- 17 疲れしころを (讃美歌360番)
- 18 主にありてぞ (讃美歌361番)
- 19 世のはじめさながらに (讃美歌444番)
- 20 この世は花園 こどもは花 (讃美歌466番)

◆「エリヤ」のテーマによる奏楽曲◆

- 第4曲 心をつくし主を求めよ
- 第9曲 幸なるかな主を怖る者
- 第15曲 重荷を主にゆだねよ (讃美歌190番)

- 第19曲 天を開き助けたまえ (讃美歌314番)
- 第29曲 主はイスラエルを見守りたもう
- 第31曲 主の前に黙して耐え (讃美歌第二編208番)
- 第28曲 山を見上げよ
- 第39曲 その時正しき者

◆短い奏楽◆ 短い奏楽 (1~18)

◆付録◆

- 1 世びとの友となりて (讃美歌265番) (足鍵盤つき)
- 2 いとしたわしき主イエスのみ名を (讃美歌第二編15番) (足鍵盤つき)
- 3 神の時は最上の時 (J.S.バッハ カンタータ106番第1曲)
- 4 同上 (足鍵盤つき)

2024年
5月8日
刊行予定

重版買切案内

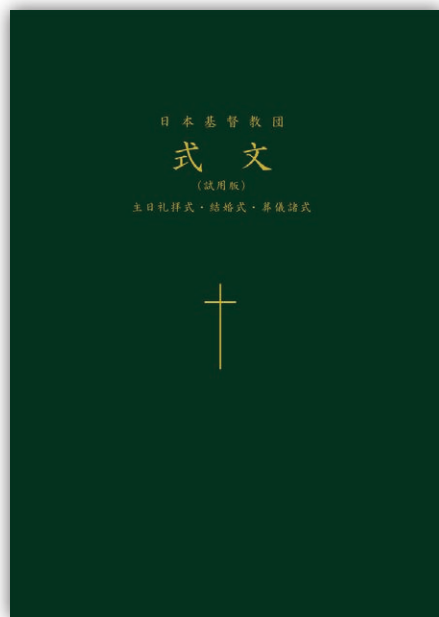
2024年5月8日刊行予定

日本キリスト教団出版局

日本基督教団式文 (試用版)

主日礼拝式・結婚式・葬儀諸式

品切れ本
重版出来



日本基督教団信仰職制委員会 編

1959年の『日本基督教団口語式文』、1990年の『新しい式文 試案と解説』をふまえ、特に会衆の礼拝参加を念頭に置いて構成された式文。各式文に指針や解説を付し、手引書としての役割も果たす。「赦しの言葉」「とりなしの祈り」などの「祈祷文」例も豊富に収録。

B6判・並製・168頁・定価2,640円 (本体2,400円+税)

ISBN978-4-8184-0628-5 C3016

【注1】 価格改定しています (本体1,700円 → 本体2,400円)

【注2】 仕様を変更しています (上製 → 並製)

目次

主日礼拝式

主日礼拝式の解説

- 1 主日礼拝式Aについて
 - 2 主日礼拝式Bについて
 - 3 『日本基督教団口語式文』の「聖餐式文」の改訂
 - 4 祈祷文について
- 主日礼拝式A
主日礼拝式B

祈祷文

- 罪の告白／赦しの言葉／聖霊の照らしを求める祈り／とりなしの祈り／献金後の感謝の祈り／特別叙唱
- 口語式文「聖餐式」改訂版

結婚式

結婚式の解説

- 1 結婚式作成の基本的方向性
- 2 結婚式の意義

3 牧会的配慮

4 結婚式の構造

結婚式A

結婚式B

葬儀諸式

- 1 キリスト教の葬儀について
 - 2 葬儀の諸式について
- 葬儀諸式
- (1) 枕頭の祈り (臨終の祈り)

(2) 納棺の祈り

(3) 出棺の祈り

(4) 前夜式・前夜の祈り

(5) 葬式 (葬送式)

葬式A

葬式B

(6) 火葬前の祈り

(7) 埋葬の祈り (埋骨の祈り・納骨の祈り)

(8) 記念式 (記念礼拝)

買切案内

2024年5月29日オンデマンド化

日本キリスト教団出版局

時代を超えて世界中の信徒を励まし、導いてきた祈りの名著、
待望のオンデマンド復刊！

ゆうべの祈り

C.ブルームハルト 著

加藤常昭 訳

賛美と感謝に導かれる366の祈り

バルトもトゥルンアイゼンも若き日にブルームハルトを訪ね、親しく教えを受けた。366日すべての日々、祈りをためらう魂の傍らに寄り添い、信仰共同体のためにこころを注ぎだす、静けさと憩いに満ちた祈りの世界。

四六判・並製・298頁・定価3,960円（本体3,600円+税）

ISBN978-4-8184-5135-3 C0016





義認の福音

エキュメニズムを目指す神学的研究

E.ユンゲル❖著 佐々木勝彦❖訳

教会分裂は本当に克服されるのか？

1999年にルーテル世界連盟とローマ・カトリック教会の間で調印された『義認の教理に関する共同声明』。この声明は本当に「教会の分裂を克服するための決定的な一歩」なのか？ 神学的論点のみならず、現代の聖書解釈と宣教の諸課題をも詳察した、「義認論」を学ぶための最良の手引き！

「本書には、妥協を喜ぶ気持ちはない。正規の神学は妥協をしない。これが、正規の神学と、必然的に妥協しなければならない教会の管理と異なるところである。正規の神学は疑わしい妥協をしない。それは、まさにいかなる妥協もしない神学を必要とする。しかしながら本書は、エキュメニズムを目指して執筆されている。なぜなら、われわれが双方とも最良の意味で《福音主義》となるときのみ、エキュメニズムは成長し前進するからである。そしてそのとき、われわれは双方とも最良の意味で《カトリック》となる。」
〔「第一版への序」より〕

❖著者紹介 E. ユンゲル (Eberhard Jüngel, 1934-2021) バーゼル大学でカール・バルトのもとで学ぶ。チュービンゲン大学で組織神学と宗教哲学を講じる。著書 『神の存在——バルト神学研究』(ヨルダン社、1984年)ほか多数。

❖訳者紹介 佐々木勝彦 (ささき・かつひこ) 1944年生まれ。東北学院大学文学部キリスト教学科教授、同大学キリスト教文化研究所所長等を歴任。現在、同大学名誉教授。訳書 R. A. クライン他編『キリスト教神学の主要著作』(教文館、2013年)ほか多数。



義認の福音

エキュメニズムを目指す神学的研究

E.ユンゲル❖著
佐々木勝彦❖訳

教文館

A5判・並製・386頁・定価5,390円(本体4,900円+税) ISBN978-4-7642-7485-3 C3016

クィア神学入門

その複数の声を聴く

クリス・グリノフ [著]
薄井良子 [訳]

四六判・並製・290頁・本体 2,700円 (税込定価 2,970円)
ISBN978-4-400-32494-2 C1023

著者：クリス・グリノフ (Chirs Greenough)

英国バーミンガム大学で神学・宗教学の博士号を取得。英国エッジヒル大学で教鞭をとる。著者に *Undoing Theology* (2018), *The Bible and Sexual Violence Against Men* (2020)。現代社会におけるレイプ文化現象の研究集団シロー・プロジェクトの共同ディレクター。

キリスト教は「クィア」をどう理解するのか

レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー等々、ジェンダーやセクシュアリティの点で非規範的であることを意味する「クィア」。キリスト教会の圧倒的大勢は、従来それらを悪とみなして断罪するか、治療すべき病として異常視するかのいずれかだった。だが今や、教会と神学の中から別の、多様な声が聞こえるよ

うになってきた。本書は、クィアとキリスト教に関する基本的な概念を平易に解説すると同時に、これら複数の神学的な冒険の歴史と最前線の議論を紹介する。キリスト教は「クィア」をどう理解しようとしているのか。多くの人の疑問に答え、更なる学びへ促す画期的入門書。

【目次より】

クィアとは何か？／神学とは何か？／なぜクィア神学は重要なのか？／クィアな宗教リテラシー

第1章 様々なクィア神学の発展

解放の神学／フェミニスト神学／レズビアンとゲイの生／ゲイとレズビアンの神学／クィア理論の台頭／フェミニスト、ウーマニスト、そして「クィア」な理論家たち／クィア理論の応用

第2章 「伝統的神学」のクィアリング

下品な神学／神／キリストのクィアリング／クィアな伝統／弁証の戦略を超えて

／クィアな礼拝／クィアな sacrament
／洗礼／ユーカリスト（聖餐）／結婚／ sacramentとしてのカミングアウト

第3章 グローバルな社会的文脈におけるクィア神学

ポストコロナル批評とクィア批評／アジア系アメリカ人のクィア神学／アジアのクィア神学／アフリカのクィア神学／ラテンアメリカのクィア神学／黒人とウーマニストのクィア神学／北大西洋のクィア神学（カナダ、英国、米国）／オーストラリアのクィア神学

第4章 クィアな聖書

権威のクィアリング／レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル神学と聖書／インターセックス及びトランスジェンダーによる聖書の読み／聖書研究におけるクィア・アプローチ／グローバルな社会的文脈におけるクィアな読み／アジア系アメリカ人のクィアな聖書の読み／アジアのクィアな聖書の読み／アフリカのクィアな聖書の読み／ラテンアメリカのクィアな聖書の読み／黒人／ウーマニストのクィアな聖書の読み

第5章 クィアな生からのクィア神学

諸教会の立場／クィア神学としてのライフストーリー／クィアな生と宗教社会／トランスジェンダーの生の神学／インターセックスの生の神学／アセクシュアリティ／禁欲主義／ストレートにとってのクィア神学／型破りな性行為を実践するクリスチャン／クィアな「修道女」たち (SPI)

あとがき——本書を超えて
用語集

牧師・大頭の「焚き火」日記

大頭眞一◎著

牧師の仕事は楽しい!

人に出会い、話を聞き、聖書を語り、祝福を祈る、
ただそれだけにとっても奥が深い。日本が知らない聖職者の日常。

篆刻の達人、旧車オタク、ロックアーティストとの出会い、神学談義、地域の地鎮祭と牧師の祈り、結婚式で大ミス、教会で般若心経を読む会、イタズラメールとの戦い、バイクと事故と入院、ご近所さんとのカラオケ、特殊詐欺事件、イギリス 留学……。ゆるゆると流されているようで、何かに導かれるような、ひとりの男の物語。

大頭 眞一（おおず・しんいち）

1960年神戸市生まれ。北海道大学経済学部卒業後、三菱重工に勤務。英国マンチェスターのナザレン・セオロジカル・カレッジ（BA、MA）と関西聖書神学校で学ぶ。日本イエス・キリスト教団香登教会伝道師・副牧師を経て、現在、京都市北区の京都信愛教会と、京都府八幡市の明野キリスト教会牧師。関西聖書神学校講師。
主な著書：『聖書は物語る 一年12回で聖書を読む本』（2013、2020）、『聖書はさらに物語る 一年12回で聖書を読む本』（2015、2019）、焚き火を囲んで聴く神の物語・説教篇①『アブラハムと神さまと星空と一創世記・上』②『天からはしご一創世記・下』③『栄光への脱出 出エジプト記』④『聖なる神の聖なる民 レビ記』⑤『何度でも何度でも何度でも愛 民数記』⑥『えらべ、いのちを 申命記・上』（2019年～）



New聖書翻訳 No.9

発売日
2024年3月29日
(予定)



2014年に創刊された本誌は、第9号となる今号から日本聖書翻訳研究会の機関誌となり、査読制が導入されました。今号には、高橋洋成、辻学、川崎千里、遠藤佳那子各氏の論文を掲載しているほか、第1号～第8号までの総目次、同研究会のこれまでの活動報告、研究会規約、応募規定、執筆規定を収録しています。

【巻頭言】

「創刊10年にあたって」 阿部 包

【論 文】

「聖書ヘブライ語の「極性疑問—応答表現」に見る焦点構造」 高橋 洋成

「死者への宣教（一ペト3:19; 4:6）をめぐって」 辻 学

「ラテン語翻訳聖書とアウグスティヌス」 川崎 千里

「文語訳聖書における「死ねり」」 遠藤佳那子

※巻末に活動報告、総目次、規約、応募規定、執筆規定、執筆者紹介を記載

A5判 タテ210mm×ヨコ148mm

96ページ

日本聖書協会（編集 | 監修）

ISBN : 9784820292876



定価 **1,540円**
(本体1,400円+税10%)

KFG・志木キリスト教会主任牧師／シャローム幼児学園学園長

松木 充 [著]

聖霊による福音宣教

——使徒の働き連続説教



5月15日刊行予定



四六判・378頁・定価1,980円税込
本体1,800円＋税 ISBN978-4-911054-16-1 C0016

「では聖書は何と言っているか」、
これが、すべての出発点となる。

“聖霊行伝”とも呼ばれる「使徒の働き」全28章に聖霊が働く宣教の足跡を丹念にたどった連続説教。週報に掲載されたその要旨を一冊にまとめ、聖霊が力強く働く信仰とは何か、その発見が散りばめられた本となって新登場。

- ・教会の宣教は、お互いの励ましによって支えられる。
- ・教会の宣教は、神の摂理的助けによって進められる。
- ・教会の宣教は、みことばの約束（保証）によって進められる。

福音を語り続けるのが教会の姿、これが教会の進むべき道だと示して、使徒の働きは結ばれる。主が再び来られるまで福音を宣べ伝え、前進、成長する教会でありたい。（「教会の進む道」〔ローマのパウロ〕使徒28:11～31）より抜粋

著者略歴：松木 充（まつき・みつる）

1957年高知県生まれ、愛媛県育ち。出身校：東京聖書学院。

1986年渡米、ヴェナード大学（アイオワ州）、サウスウェスタン・バプテスト神学校（テキサス州）で学ぶ。16年間テキサス州に住み、ダラス、フォートワース、オースティンなど計7か所の南部バプテスト連盟日本語教会で牧師、協力奉仕。

2003年8月よりKFG・志木キリスト教会牧師。シャローム・インターナショナル・クリスチアンスクール チャプレン、2019年よりKFG・志木キリスト教会主任牧師／シャローム幼児学園学園長。* KFG= コイノニア福音グループの略



聖書と神の権威

聖書はどういう意味で「神の言葉」であるのか

著者 N.T. ライト
 訳者 山崎ランサム和彦

ISBN978-4-900677-46-3 四六判 280頁 並製
 C0016 ¥2500E 定価 2,750円 (本体2500円)

キリスト教において聖書と聖霊が権威の中心であることは力強く支持されている。しかし、このことが何を意味するか、実際にどのように機能するのかについて統一した合意は得られていない。

聖書に対する意見の相違や信仰理解の混乱の中で、聖書の位置と神の権威の理解について、本書は新たなモデルを提示する。その新鮮かつ有益な論説により、神からのメッセージを受け取る聖書の価値を回復させようとしている。

- ◎聖書、伝統、神の権威とは何か？
- ◎宗教改革者が成し遂げ、
 また見過ごしたものは何か？
- ◎今日のキリスト教右派と左派による
 聖書の誤読とは？

【目次】

- 第二版への序
 - プロローグ
 - 第1章 誰の権威によって？
 - 第2章 イスラエルと神の王国の民
 - 第3章 聖書とイエス
 - 第4章 使徒時代の教会における「神の言葉」
 - 第5章 最初の16世紀
 - 第6章 啓蒙主義の挑戦
 - 第7章 聖書の誤読
 - 第8章 正道に戻るには
 - 第9章 ケーススタディ——安息日
 - 第10章 ケーススタディ——単婚制
- 訳者あとがき

著者◎ N.T. ライト

セント・アンドリュース大学神学部教授。オックスフォード大学神学部上席研究員。英国国教会の元ダラム主教。専門は新約聖書学、初期キリスト教学。ABC ニュースをはじめメディアでも紹介される。著書多数。

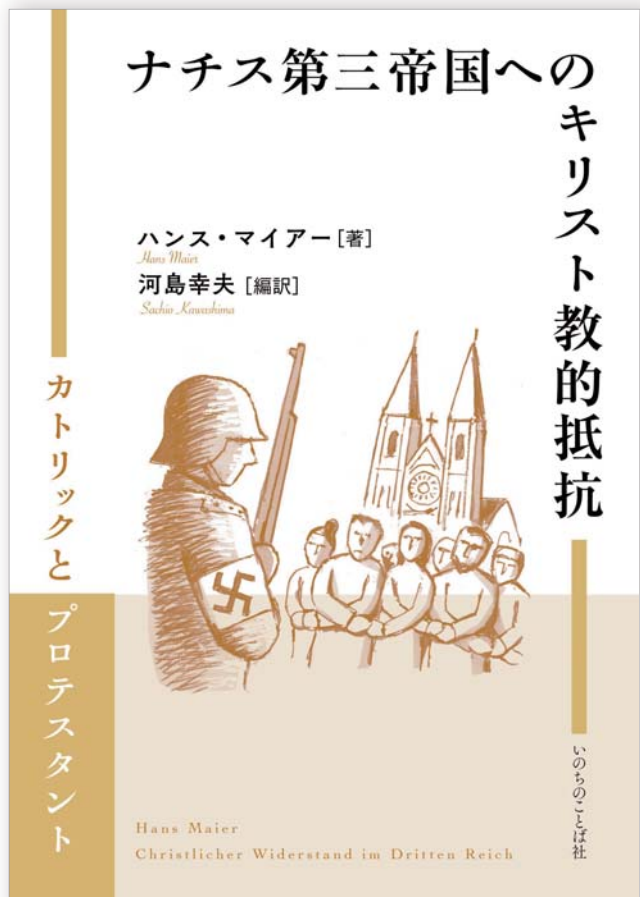
訳者◎山崎ランサム和彦

東京大学、バテル神学校、トリニティ福音主義神学校卒。哲学博士。聖契神学校教務主任、鶴見聖契キリスト教会協力牧師。日本福音主義神学会全国理事長。著書：『平和の神の勝利』（ブレイズ出版）他。訳書：ライト『シンプリー・グッドニュース』V・ロバーツ『神の大いなる物語』他。

ナチス第三帝国への キリスト教的抵抗 カトリックとプロテスタント

ハンス・マイアー 著 河島幸夫 編訳

ヒトラー政権下でプロテスタントだけでなくカトリック教会も大きな苦難を経験していた——両教会の挫折と抵抗を語った著者による講演と、ドイツ教会闘争史を概観する編訳者による論文を収載する。現代日本の教会とキリスト者が耳を傾けるべき貴重な提言。



A5判 80頁 定価880円(本体800円+税)

ISBN978-4-264-04491-8 C0016

いのちのことば社 卸コード 29435